

平成 22 年度「大学生の就業力育成支援事業」
『持続型職業人SOZOプロジェクト』
成果報告書

学校法人藤ノ花学園

豊橋創造大学

豊橋創造大学短期大学部

目 次

はじめに	1
『持続型職業人SOZOプロジェクト』概要	2
文部科学省申請概略	4
I. 平成22年度活動実績	7
1. iPad 配布説明会	8
2. メンタルタフネスベーシック講座	9
3. 就業に関するアンケート	19
II. 平成23年度活動実績	23
1. 「豊橋を知る」キックオフ講演会	24
2. 携帯情報端末アプリケーション導入説明会	34
3. 職業研究	35
4. 社会人基礎講座	36
5. キャリアプランニング I	37
6. メンタルタフネスアセスメント講習	38
7. 情報ビジネス学部：プロジェクト演習「中間発表会」	43
8. メンタルタフネスセルフモチベーション講座	48
9. 卒業生業界別交流会	53
10. 在学生&卒業生交流会	55
11. メンタルタフネスを活かすビジネス研究講座（1）	59
12. プロジェクト管理システム(version2)導入説明会	67
13. メンタルタフネスを活かすビジネス研究講座（2）	68
14. キャリアプランニング科：プロジェクト成果発表会	74
15. 情報ビジネス学部：プロジェクト成果発表会	82
III. 事業グループ成果報告書	93
1. メンタルタフネスグループ	98
2. プロジェクト実践グループ	110
3. ユビキタスキャンパスグループ	121
4. 大学コミュニティーグループ	127
IV. プロジェクト演習成果報告書（教員）	131
V. プロジェクト演習協力企業・団体一覧	179
VI. 発行済パンフレット	181

はじめに

本報告書は、平成22年度、文部科学省にて採択された大学改革推進事業補助金「大学生の就業力育成支援事業」の活動とその成果を取りまとめたものである。「就業力育成支援事業」の取り組みは、豊橋創造大学情報ビジネス学部ならびに豊橋創造大学短期大学部キャリアプランニング科の2つの学科がともに進めてきたものである。

この就業力については、2010年2月に改正され、2011年度から施行される大学設置基準では、「学生が卒業後自らの素質を向上させ、社会的・職業的自立を図るために必要な能力」を就業力と定義がなされ、学生が自分に合った仕事を見つける能力のことを意味している。

本学では、これまでフレッシュマンプログラム、キャリア教育、インターンシップ、資格支援など、就業力育成に多くの力を割いてきたが、それでも就業後数年以内に離職をするなどの現象も現れている。今回の大学改革推進事業補助金「大学生の就業力育成支援事業」の採択を受け、「魅力ある大学づくり」に向けて就業力育成を組織的に展開することとした。このため、本学の就業力の育成に関わる現状を踏まえ、またこれまで展開してきた一連のプログラムの見直しを行い、学生のメンタル面とスキル面双方の強さを備えた、『職業人』を育成することをテーマに、就業後の安易な離職と早期退職を防止することを課題として推進してきた。

具体的には『職業人としての就業力』の育成を、①メンタルタフネスの育成 ②実践的スキルのブラッシュアップ（プロジェクトマネジメント体験）③ユビキタスキャンパスの始動 ④大学コミュニティーを活用した社会人基礎教育の展開 の4つを柱として展開してきた。本報告書は、平成22・23年度において、この4つの柱を中心に活動・実施内容と成果をとりまとめた。

豊橋創造大学情報ビジネス学部ならびに豊橋創造大学短期大学部キャリアプランニング科では、これまでの活動を基礎に、就業力育成を継続的に改善を加えて展開する所存ですので、本報告書をご覧いただき、忌憚のないご意見を頂戴いただければ幸いです。

2012年3月

「持続型職業人SOZOプロジェクト」

事業推進責任者

豊橋創造大学情報ビジネス学部長 佐藤勝尚

文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」に採択されました「持続型職業人 SOZO プロジェクト」の成果報告書をお届けします。

本学は、平成二十二年度以来、大学改革推進事業補助金（大学生の就業力育成支援事業）を柱に魅力ある大学づくりに取り組んでいます。この事業は、本学と短期大学部が共同で推進している、スキル面とメンタル面の両方の強さを備えた職業人育成を目的としたプロジェクトであります。下記の解決策を通じて、社会的・職業的自立に繋がる学生の就業力育成を目的としています。

豊橋創造大学情報ビジネス学部ならびに短期大学部キャリアプランニング科ではこれまで1学年 170 名程度の少人数を活かした密度の濃いキャリア教育、スキル育成プログラムによって、職業人として必要な就業力育成を行ってきた。その結果、就職率は90%を超え、フリーター、ニートを出さない大学として定着しつつあります。しかしながら、就業後に目を向けてみると、卒業後数年内に安易な離職をしてしまう卒業生も存在し、その原因はストレス耐性や我慢の欠如などメンタルタフネスの不足に依拠するケースが見受けられました。

そのため、本取組では就業力育成のため、具体的施策を以下の4点を柱としてこれを推進することにしました。

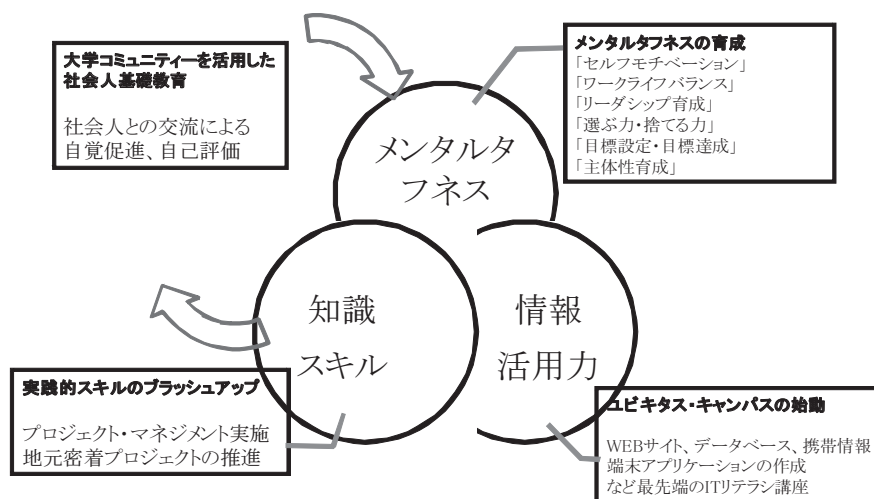
- 1)メンタルタフネスの育成 : セルフモチベーション、ストレスコントロールなどグループでの実技演習と座学を組み合わせる学生自身の経験知を高める教育プログラムの開発・展開しました。また、学部学生用としてビジネス研究講座を開講することによって学部学生の就業観の育成をおこなっています。
- 2)実践的スキルのブラッシュアップ[プロジェクトマネジメント体験] : 学生自身が企画・立案・運営するプロジェクトを立ち上げる場の提供を行い、そのプロジェクトの運営を通して、学生自ら気づき・学ぶ「SOZOプロジェクト」を推進しています。そのプロジェクト運営を通してプロジェクトマネジメント体験やプロジェクト運営に不可欠なウェブ検索サイトや携帯情報端末を活用したITリテラシーを体得させる事業を展開しています。
- 3)ユビキタス・キャンパスの始動 : 「持続型職業人SOZOプロジェクト」に特化したWEBサイト・データベースの構築・運用。大学と学生をインタラクティブに結ぶために、携帯情報端末を貸与し、専用アプリケーション開発支援や学内IT環境の整備などをおこなっています。



4) 大学コミュニティを活用した社会人基礎教育の展開：これまで多くの卒業生を地元へ輩出した強みを生かし、卒業生の人的ネットワークを再構築するために、社会活動豊富な卒業生と在学部生の交流を推進しています。

次ページ以降に本取組の詳細についてご報告いたします。次年度以降も教職員一同、全力をあげて本事業を遂行していく所存ですので、本事業においてますますのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本申請事業の概略図



持続型職業人 SOZO プロジェクト委員会



1. 大学等名／設置者名	豊橋創造大学／学校法人 藤ノ花学園
2. 事業名	「大学生の就業力育成支援事業」
3. 取組名	「持続型職業人」SOZO プロジェクト
4. 選定年度	平成22年度
5. 事業推進代表者／ 事業推進責任者	事業推進代表者 (所属部局・職名・氏名) 学長 伊藤 晴康 事業推進責任者 (所属部局・職名・氏名) 情報ビジネス学部 学部長 佐藤 勝尚
6. 事務担当者	担当 (所属部局・職名・氏名) キャリアセンター 渉外部長 中村 隆三
7. 選定取組の概要	<p>豊橋創造大学情報ビジネス学部ならびに豊橋創造大学短期大学部キャリアプランニング科ではこれまで1学年170名程度(情報ビジネス学部70名, キャリアプランニング科100名)の少人数を活かした密度の濃いキャリア教育、スキル育成プログラムによって、職業人として必要な就業力育成を行ってきた。その結果、就職率は90%を超え、フリーター、ニートを出さない大学として定着しつつある。しかし、就業後に目を向けてみると、卒業後数年内に安易な離職をしてしまう卒業生も存在し、その原因は仕事に対するストレス耐性や我慢の欠如などメンタルタフネスの不足に依拠するケースが見受けられる。これらの現状を踏まえ、社会的・職業的自立に繋がるスキルの更なる向上と共に、メンタル面の育成を強化し、早期離職防止を図るため、以下の4点を具体的施策の柱として推進する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)メンタルタフネスの育成 2)実践的スキルのブラッシュアップ 3)上記2点を実現するためのユビキタス・キャンパスの始動 4)大学コミュニティーを活用した社会人基礎教育の展開
8. 補助事業の目的・必要性	<p>(全体)</p> <p>本補助事業の目的はスキル面とメンタル面の両方の強さを兼ね備えた職業人を育成することにより、学生の本質的な就業力を向上させることである。その必要性は就業後の「安易な離職」や「早期退職」等を背景としたものであり、この問題を解決することによって、持続的に社会に貢献出来る職業人を育成することである。</p> <p>本補助事業の目的を実現するための具体的施策は以下の4つを柱として、これを推進する。</p> <p>1 メンタルタフネスの育成: ストレス対応法、セルフモチベーション、メンタルタフネスを活かすビジネス研究講座、目標設定などの理論的背景と実技演習を組み合わせることで学生自身の経験知を高める教育プログラムを開発・展開する。</p>

2 実践的スキルのブラッシュアップ: 学生自身が企画・立案・運営するプロジェクトを立ち上げる場の提供を行い、そのプロジェクトの運営を通して、学生自ら気付き・学ぶ「創造プロジェクト」を推進する。そのプロジェクト運営を通してプロジェクトマネジメント体験やプロジェクト運営に不可欠なウェブ検索サイトや携帯情報端末を活用した IT リテラシーを体得させる事業を展開する。

3 上記2点を実現するためのユビキタス・キャンパスの始動: 「持続型職業人 SOZO プロジェクト」に特化した WEB サイト・データベースの構築・運用。大学と学生をインタラクティブに結ぶための携帯情報端末アプリケーションの開発・運用をする。

4 卒業生との大学コミュニティーを活用した社会人基礎教育の展開: これまで輩出した卒業生とのパイプを活かし人的ネットワークを再構築し、その社会活動豊富な卒業生と在学部生の交流を推進し、学生の社会人力の養成を行う事業を展開する。

